衆議院議員
大阪9区支部長
日本再生、未来への責任。
日本維新の会
JAPAN RESTORATION PARTY

足立やすし康史 通信

特別号
発行日 H26.1.28

発行所：日本維新の会衆議院大阪府第9選挙区支部 大阪府茨木市大手町9-26 吉川ビル3F　発行人：衆議院議員 足立 康史　www.adachiyasushi.jp　電話072-623-5834

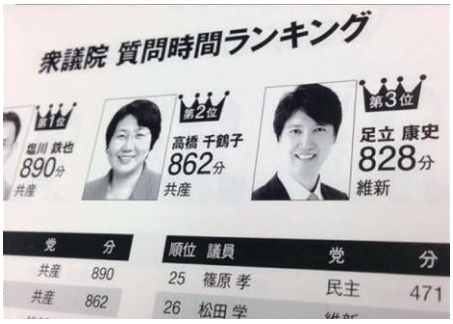
日本維新の会　衆議院議員　足立やすし

昨年のご支援に心から感謝
「大阪都」を実現し一大改革勢力の結集を！

■昨年のご支援に感謝

昨年は、皆様の温かいご支援をいただき、衆議院議員一年目を全力で走り抜くことができました。有難うございました。

三月の予算委員会に加え十一月の本会議でも、党を代表して質問に立ち、社会保障改革について政府の考えを質しました。委員会でも院内トップクラスの三十回余りに及ぶ質疑を担当し、東北の復興、原子力政策、そして社会保障改革の三分野で、政府与党に「是々非々」の論戦を挑んでまいりました。



■「先送り」から脱却

現在の日本政治の課題は、財政であれ、社会保障であれ、原子力政策であれ、困難な課題を将来に先送りし、正面から向き合おうとしないことです。

本当の意味で「未来への責任」を果たすことのできる、新しい政治の確立に力を尽くしてまいります。

■一大改革勢力の結集

永田町では、野党再編に係る動きが活発化していますが、みんなの党に象徴されるようなブティック型の小政党では、国民のための政治はできません。

維新は、あくまでも自民党に代わる一大政治勢力を結集し政権を奪取する、そのために与野党を超えた改革勢力の結集に向けた核となっていく決意です。

特に江田憲司代表率いる結いの党との政策協議を進め、「保護主義ではなくグローバル主義」「中央集権型ではなく分権型統治」といった政策の一致を前提に、統一会派を形成してまいりたい。

これにより、衆議院における議席数でも民主党を凌駕し、野党第一会派として国会運営をリードするのです。

原発の輸出を巡る攻防
維新は両院議員総会で反対へ

■維新は原発輸出反対

特定秘密保護法案が与党により強行採決された昨年の十二月五日、原発輸出の前提となるトルコ等との原子力協定の取り扱いについて、党の最高意思決定機関である両院議員総会が開催されました。賛否が拮抗し、通常の意思決定機関では決着しなかったからです。

総会では議員一人ひとりの覚悟が問われる記名投票で採決が行われ、二十八対三十一の僅差で反対と決しました。反対票を投じた私を含め、あと二人が賛成に回っていれば結果が引っくり返っていたと思うと、責任の重さを痛感せざるを得ません。

（裏面へ）

■維新の同志とともに

日本維新の会としても、二月一日に東京で二回目の党大会を開催します。

松本利明府議、上島一彦府議、奥野康俊府議、更には茨木六名、箕面四名、豊能二名の党所属市町議団とともに参加してまいります。

見直しが進まない原発事故の損賠制度

2011年	3月11日	福島第一原発事故が発生
	8月 3日	原子力損害賠償支援機構法が成立。「1年をめど」に原子力損害賠償法を見直すと国会決議
12年	8月	見直し決議から1年
	11月 7日	東電が「賠償総額は5兆円超の可能性」と発表
13年	7月 8日	原子力規制委員会が新規制基準を施行。その後、4電力6原発が再稼働申請
	9月24日	賠償資金の援助総額が3兆円を超える
	9月27日	東電が柏崎刈羽原発の再稼働申請

見直しの動きなし

（2013年10月7日付 東京新聞朝刊から抜粋）

（表面から）

■反対票を投じた理由

私が原発輸出に反対票を投じたのは、原発再稼働や原発輸出そのものに反対だからではありません。むしろエネルギーは経済活動の重要な基礎であり、代替となるベース電源の確保なしに脱原発は困難とさえ考えています。

但し、それには条件があります。福島第一原発事故という未曾有のシビア・アクシデントを経験した日本において引き続き原発を維持しようというのであれば、それに足る「覚悟」が必要です。

ところが、今の政府与党には、その覚悟の片鱗も窺えないのです。

■原発に係る三大課題

私は党のエネルギーPT事務局長として、原発政策に関する党内論議をリードするとともに、予算委員会等で政府に覚悟のほどを質してまいりました。

ところが事故から三年が経過しようとしているにもかかわらず、政府与党は、福島第一原発事故により突き付けられた三つの課題のうち、まだ一つしか手を着けていないのです。

第一の課題、つまり原子力安全規制の再構築については、昨年七月に原子力規制委員会を発足させるなど何とか成し遂げつつありますが、原子力損害賠償法等の見直しは検討も始まっていないし（上図参照）、そもそも福島第一原発は、収束どころか汚染水問題が深刻化する一方です。

つまり、原子力エネルギーを利用するに十分な「覚悟」を有しない、腰砕けの政府に、原子力を推進する資格なし、そう断じざるを得ないのです。

■維新公約の真の意味

なお、日本維新の会が初めて衆参の国政選挙に臨むにあたって明らかにした公約は、既設の原発について「三十年代までにフェードアウトする」でした。

橋下代表が何度も指摘してきたように、この公約の真の意味は、「意識的にフェードアウトさせる」ではなく、政府や東電の体たらくを前提とすれば「（原発が）フェードアウトするのは避けられないから、それに備える」なのです。

豊かな大阪をつくる 地元で「まちづくり研究会」

■大阪都へ十月決戦

大阪では、いよいよ今秋にも「都構想」の成否を決する住民投票（大阪市）がございます。

二重行政のムダを排し豊かな大阪をつくるため、①大阪の広域行政を一本化するとともに、②基礎自治体を再構築し住民サービスを向上させます。

また、地元茨木では、維新の同志とともに、茨木の将来ビジョンを検討する「まちづくり研究会」も発足させます。

北摂の活性化が大阪の再生に繋がり、大阪の再生が日本の発展に繋がる、そう確信しています。

本年もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

衆議院議員 足立やすし君を励ます会

◎日 時：2014年2月28日（金）午後6時開会
◎場 所：リーガロイヤルホテル3階
タワーウイング「ロイヤルホール」
◎会 費：20,000円

お問い合わせ： 実行委員会事務局 ☎072-623-5834

宇保町に池田事務所を新設!

■池田西部事務所
池田市宇保町4-10 2F
☎ 072-737-8485
■茨木本部事務所
茨木市大手町9-26 3F
☎ 072-623-5834
info@adachiyasushi.jp

あだち やすし

＜衆議院＞
・厚生労働委員会
・震災復興特別委員会
・原子力特別委員会（理事）
＜超党派議連＞
・高レベル放射性廃棄物等の最終処分に関する議員連盟（事務局次長）
・新しい社会保障制度を確立し世代間格差を是正するための研究会（起草委員）

・昭和40年10月14日大阪生まれ
・茨木市立中津小、東中、府立茨木高校、京都大、米国コロンビア大院
・経済産業省大臣官房参事官を経て一昨年12月の総選挙で初当選
・茨木高校では水球で国体・インターハイ出場、京大水球チーム主将

足立やすし 公式ホームページ www.adachiyasushi.jp